

いば 議会だより

第116号

令和6年10月

発行
編集

宮崎県椎葉村議会

議会だより編集委員会

〒883-1601

宮崎県東臼杵郡椎葉村大字

下福良1762番地1

TEL(0982)67-3209

村内無料電話7-67-0091

椎葉中学校



・9月定例会 ……(2～5)
・総括質疑 ……(6)

・一般質問 ……(6～8)
・議員活動報告 ……(8～10)

・加工センター説明会 ……(11)
・議会の動き ……(12)

(椎葉中学校体育大会)

第3回臨時会

令和6年7月31日に第3回臨時会が開催され、議案3件を可決した。

第3回臨時会で審議、議決したこと

議案番号	件 名	審議審査結果
議案第76号	令和6年度椎葉村一般会計補正予算(第3号)について	可 決
議案第77号	椎葉村村営住宅設置条例の一部を改正する条例について	可 決
議案第78号	工事請負契約の締結について(令和6年度社会資本整備総合交付金事業下水流公営団地C棟新築工事)	可 決
議案第79号	工事請負契約の締結について(令和6年度椎葉小学校プール改築工事)	可 決

議案の主な内容

議案第76号

2億4,854万6千円を追加し、予算総額が64億559万1千円となる。

- ①重点支援交付金事業(新)・・・1,823万円追加
(1)定額減税(一人当たり最大4万円)しきれなかった差額を、納税者に支給する制度。
- ②農業施設災害復旧事業・・・1億3,517万円追加(補正後予算:1億6,067万円)
- ③林業施設災害復旧費(新)・・・156万円追加(作業路災害復旧業務委託)
- ④道路橋梁災害復旧費・・・8,924万円追加(補正後予算:6億5,149万円)

議案第77号

8月に「下水流公営団地(桑の木原地区)」が完成したため、1棟4戸から2棟8戸に増加変更した。

議案第78号

契約の金額:6,950万9千円
契約の相手方:株式会社 協栄
工事内容:木造2階建、1棟4戸、単身者向け住宅
工期:令和6年8月1日～令和7年2月28日



下水流公営住宅2棟目が完成、隣に議案78号の3棟目が建設される予定

議案第79号

契約の金額:9,625万円
契約の相手方:杉本建設株式会社
工事内容:既存プール解体と25mプール新設
工期:令和6年8月1日～令和7年3月25日

令和6年9月定例会

令和6年9月5日から20日まで定例会が開催され、報告4件、承認1件、認定8件、議案20件を可決承認した。

9月定例会で審議、議決したこと

議案番号	件 名	審議審査結果
報告第6号	令和5年度椎葉村財政健全化判断比率の報告について	報告済
報告第7号	令和5年度椎葉村公営企業会計における資金不足比率の報告について	報告済
報告第8号	専決処分について(令和5年度4年災第116号村道向山日当線道路災害復旧工事請負変更契約の終結)	報告済
報告第9号	専決処分について(令和5年度4年災第1385号村道大河内桑木原線道路災害復旧工事請負変更契約の終結)	報告済
承認第15号	令和6年度椎葉村一般会計補正予算(第4号)について	承認
認定第1号	令和5年度椎葉村一般会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第2号	令和5年度椎葉村国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第3号	令和5年度椎葉村簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第4号	令和5年度椎葉村国民健康保険病院事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第5号	令和5年度椎葉村電気事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第6号	令和5年度椎葉村介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第7号	令和5年度椎葉村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第8号	令和5年度椎葉村ケーブルネットワーク事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
議案第80号	令和6年度椎葉村一般会計補正予算(第5号)について	可決
議案第81号	令和6年度椎葉村国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について	可決
議案第82号	令和6年度椎葉村簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)について	可決
議案第83号	令和6年度椎葉村国民健康保険病院特別会計補正予算(第2号)について	可決
議案第84号	令和6年度椎葉村電気事業特別会計補正予算(第2号)について	可決
議案第85号	令和6年度椎葉村介護保険特別会計補正予算(第2号)について	可決

議案番号	件 名	審議審査結果
議案第86号	令和6年度椎葉村後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について	可 決
議案第87号	令和6年度椎葉村ケーブルネットワーク事業特別会計補正予算(第2号)について	可 決
議案第88号	椎葉村光ファイバーネットワーク(かてーリネット)施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	可 決
議案第89号	桑木原辺地に係る公共施設の総合計画の変更について	可 決
議案第90号	夜狩内辺地に係る公共施設の総合計画の変更について	可 決
議案第91号	鹿野遊辺地に係る公共施設の総合計画の変更について	可 決
議案第92号	椎葉村過疎地域持続的発展計画の変更について	可 決
議案第93号	河川法を適用又は準備しない河川用排水路を使用する権利を規制する条例を廃止する条例について	可 決
議案第94号	椎葉村村営住宅管理条例の全部を改正する条例について	可 決
議案第95号	工事請負変更契約の締結について(令和5年度(令和4年度繰越)林道 柵尾上線1号箇所林道施設災害復旧工事)	可 決
議案第96号	村道路線の認定について	可 決
議案第97号	工事請負契約の締結について(令和6年度(令和4年災)農地農業用施設 災害復旧事業本郷地区災害復旧1期工事)	可 決
議案第98号	工事請負契約の締結について(令和6年度6年災第4号村道野地下線道路 災害復旧工事)	可 決
議案第99号	工事請負契約の締結について(令和4年度継続事業台風14号災椎葉村 間柏原発電所災害復旧工事)	可 決

議案の主な内容

報告第6号及び7号

椎葉村及び椎葉村公営企業会計において、財政状況が健全であるかの判断をする報告であり、令和5年度においては「健全である」という報告があった。

承認第15号

422万3千円を追加し、予算総額が64億981万4千円となる。

①林道施設災害復旧事業・・・422万円追加(補正後予算:2,332万円)

議案第80号

1億6,685万1千円を追加し、予算総額が65億7,666万5千円となる。

- ①健康しいば21計画策定業務・・・418万円追加
- ②宮ノ下村営墓地補修工事・・・1,400万円追加
- ③大阪アンテナショップ運営事業・・・346万円追加
- ④村単急傾斜事業補助・・・1,050万円追加(7件分)
- ⑤仲塔体育館補修工事・・・390万円追加
- ⑥林道施設災害復旧事業・・・914万円追加(補正後予算:3,246万千円)
- ⑦道路橋梁災害復旧事業・・・2,351万円追加(補正後予算:6億7,501万千円)
- ⑧コロナワクチン予防接種業務・・・615万円追加

議案第82号

- ①本郷地区水道設備実施設計業務・・・678万円追加

議案第88号

インターネット利用料金の「スタンダードプラン:現行3,500円」が、10月1日から「3,000円」に引き下げられる。

議案第89号～議案第92号

村は地方債を活用して、様々なインフラ整備を行っているが、中でも「辺地対策事業債」と「過疎対策事業債」は、交付税措置のある有利な地方債である。今回変更を行い、新たなインフラ事業を各計画に追加した。

議案第93号

重複する条例が他にあるため、今回廃止した。

議案第94号

現条例と上位法令に部分的な相違が散見されるため全部改正した。また、入居者資格について所得要件や優先入居条件等を修正・追加する内容となった。

議案第97号

契約の金額:1億2,292万5千円
契約の相手方:(株)川上建設
工事内容:水路の復旧延長54mほか
工期:令和6年9月～令和7年3月(2工区は令和7年度)

議案第98号

契約の金額:2億2,000万円
契約の相手方:(株)甲斐建設
工事内容:復旧延長82m、現場吹付法砕工ほか
工期:令和6年9月～令和7年3月

議案第99号

8月末の台風10号により再度被災を受けたため、本契約は打ち切り精算される。

認定1号から8号までの令和5年度決算審査の総括質疑

なすしげみ

那須重美 議員

問1

令和5年度 執行状況において、どこまで実施できたか。又、村長自身の公約についての決算を踏まえた自己評価はどのようなものか。

答1

ある程度の事業目標を達成していると思う。子供、子育てについては、成果はあるもののまだ、充分ではないと実感する。

高齢者福祉については、成果はでていないが、支援が行き渡るように広げていく

村長に聞く！ ～ 一般質問 ～



かわぐちよしひろ

河口吉弘 議員

質問

大地震に対する家具転倒防止対策をどうする

問1

令和6年8月8日、日向灘を震源とする地震が発生。日南市では震度6弱を観測、今後30年以内に大規模地震が70%から80%の確率で発生する可能性あるとして「南海トラフ地震臨時情報」が発表された。

阪神・淡路大地震では、死亡者の8割が家屋の崩壊や家具の転倒による圧迫死と言われる。改めて家具配置の見直しと家具転倒防止器具の設置が必要。転倒防止器具設置に対する助成措置が必要と思うが。

答1

村単独で支援を地震に限らず防災は自助、共助が重要。本村の南海トラフ巨大地震の想定最大震度は6弱、日頃からの備えと心構えが重要。家具等の固定は自助の一つであり家庭で実施していただきたい。家具の固定や移動、寝る場所を変えるなど、今後は防災士や消防団員の研修を行い、アドバイスできる人材を確保していきたい。

問2

南海トラフ想定最大震度6弱は、人が立ってられない、固定していない家具の大半が移動し転倒する。扉が開かなくなる、窓ガラスが破損するなどの被害が発生する。

一人暮らし高齢者や高齢者だけの世帯、障がい者を抱える世帯など、巨大地震に遭遇した時どういう自助が可能か、事前に転倒防止を防ぐ自助を支援する制度があってもいいのではないかと。弱者の命を守る県内初の施策として検討すべきと思うが村長の見解を。

答2

初めて発令された「臨時情報」により、県として検証を実施していく中で、改めて公助で何ができるか検討を進めていきたい。

問3

市町村の中では、一人暮らし高齢者など対象者を絞って転倒防止器具に対する支援を行っている。地震は予期できない災害、家具の転倒や窓ガラスの破損などにより屋外避難が困難になる。転倒防止策による安全対策の周知とともに、支援策も講じていただきたい。

答3

ソフト面で専門的なアドバイスを行う人材育成に取り組み、ハード面では貴重な意見として参考にさせて頂きたい。

来年の村長選挙について考え方を！

問1

少子高齢化・人口減少など、村は極めてこんな課題に直面している。首長には村政のトップとして強いリーダーシップによる具体的かつ積極的な施策推進が求められる。来年7月5日に1期目の村長任期を迎えるが、村長選挙についてどのように考えているのか伺いたい。

答1

令和3年7月から第38代村長として、村民の命と暮らしを守り、椎葉村の更なる発展を目指して務めてきた。

持続可能な村づくりのために、人口減少対策としてUIターン者の支援、子ども・子育て支援、基幹産業である林業施策の更なる推進、高齢者福祉施策の充実と住宅確保策という重点施策の推進に取り組んでいきたいと考えている。

村民に寄り添い、椎葉村をもっともっとよくしていくという強い意志をもって、引き続き来年の村長選挙に挑んでいきたい。これまで以上のご指導をお願い申し上げたい。



そうざふくお

蔵座二九生 議員

質問

再造林推進に向けた支援策について

問1

県では再造林率日本一を目的とするグリーン成長プロジェクトを立ち上げ基本的な対策の実施として、省力・低コストの再造林に対するかさ上げ補助など県民が一丸となって再造林に取り組む宮崎モデルの構築に本年度から着手したようである。森林所有者の負担軽減に加え、造林作業員の所得向上につなげようとしている。村としても造林作業員及び従事者の確保はもとより、所得向上を確実なものとして支援策を進めていかなくてはならないと思うが考えを伺う。

答1

本村は今回の支援事業のかさ上げ補助のほか、従来の下刈り施業特別支援事業に対して森林環境譲与税を財源として事業を継続していく方針である。また、近年、減少傾向にある造林作業員についても関係機関と連携し、待遇や就労環境の改善を図りながら、早急に従事者の確保に努めていきたい。



しいばはじめ

椎葉 一 議員

質問

人口減少抑制対策と空き家利活用UIターンの住宅問題について

問1

移住促進施策として空き家を移住者等に貸し出す空き家バンク制度等の計画・実行をどのようにして進めていく考えか伺う。

答1

平成26年に椎葉村空き家バンク設置要綱を定め、現在までに23件の登録があり9件の入居実績がある。多くの空き家情報があるが所有者の同意が得られない、多額の改修費用の物件が殆どであり利活用出来る空き家は限られているのが実情である。

問2 これまでのサブリース事業で整備された住宅の実績と事業効果について問う

答2 サブリース事業に関してはこれまでに5件の改修を行っておりすべて入居している。若い世代のUIターンの住居確保として大きな事業効果が得られていると感じている。

問3 ここ5年間のUIターン者・出実績を職種別に問う

答3 直近5年間のUIターン者の状況は把握出来る推計値として第一次産業転入者8名転出者2名、第二次産業転入者8名転出者2名、第三次産業転入者59名転出者12名、その他転入者26名転出者2名となっている。

問4 村内の空き店舗の増加問題、地域の商店の減少に伴う移動販売等の促進について村としてこの状況に対する問題をどう捉え今後どのように取り組んで行くのか問う

答4 空き店舗の増加について商工会・観光協会と定期的な協議を行っているが課題として建物と土地の所有者が異なる家が多く、利活用が可能な物件が少ない状況である。飲食店・宿泊業・小売業などの減少は大きな課題であり利活用できる家屋を利用して観光プロジェクト中でも取り組む計画である。移動販売促進については今年度から商工会を通じて支援策を開始している。これからも地域運営組織など多様な手法を検討し対策を模索していく。今後において人口減少抑制対策としてUIターン政策問題に積極的に取り組んでいく。

問5 移住者の人々が長期間居住し村民として暮らす事をねがうが。

答5 移住者に対しての受け入れ体制は出来ていると思うが、各地域での色々な交流のやり方により椎葉で暮らして行くという姿が見受けられている。今後において村民の寄り添った指導やご協力をお願いしたい。



議員活動報告

地域づくり懇談会 6月24日～7月16日

地域づくり懇談会が全公民館で開催され議員全員で出席した。

多くの質問や要望などが出され、すぐにできる回答や時間や予算を要しすぐにできない回答がなされた中、令和5年度の村内出生者数が10名未満であるとの説明があり、少子化対策についての現状とこれからの課題について強く認識させられた。

今後の対応については、心配されている村民に対して早めに取りまとめを行い、回答内容の情報提供が必要であると感じた。

議会としても災害の早期復旧とあわせて、村民生活の取り組みを進めていきたい。



日向市・東臼杵郡町村議会議長会要望活動

日向市及び東臼杵郡の町村議会議長会は、国及び県に対して要望活動を実施しました。主な要望内容は下記のとおり。

7月17日

【要望先】国土交通省延岡河川国道事務所、東臼杵農林振興局、北部港湾事務所、日向土木事務所

8月5日

【要望先】県知事、県議会議長

【要望内容】

1. 港湾所在自治体に対する港湾整備負担金の見直しについて
2. 東九州自動車道・九州中央自動車道(九州横断自動車道延岡線)の整備促進について
3. 農業の振興について
4. 重度障がい児(者)を対象とした医療型短期入所施設の整備拡充について
5. 耳川流域における災害に強い基盤整備について
6. 二次救急医療機関に対する支援策の拡充・強化について
7. 国県道の整備について
8. 津波避難施設等の整備における財政支援について
9. 地域産業の振興への支援強化について
10. 中山間地域における中等・高等教育に係る教育費負担軽減策について
11. スクール・サポート・スタッフの配置について
12. 森林・林業・木材振興対策について
13. 有害鳥獣による農林水産業被害への対策について



入郷地域開発期成同盟会要望活動

入郷3町村の議長会は、県に対して要望活動を実施しました。主な要望内容は下記のとおり。

7月19日

【要望先】東臼杵農林振興局、県北部教育事務所、日向土木事務所

7月23日

【要望先】県知事、県総合政策部長、県議会議長

【要望内容】

1. 国道5路線並びに県道5路線の早期改良整備促進について
2. 有害獣による農林水産業被害への対策について
3. 医師の確保について
4. ひむか神話画街道改良について
5. 地上デジタル難視聴地域で運営するケーブルテレビ事業に対する支援について
6. 森林・林業・木材振興対策について
7. 遠隔地域の中・高等教育に係る教育費負担軽減策について
8. 情報、通信施設整備の促進について
9. 治水事業の整備促進について
10. 大内原ダムの魚道設置について
11. 乾しいたけ産業の振興対策について
12. 介護人材確保対策について



九州中央道建設促進議会協議会 総会・決起大会(山都町)

7月30日

総会・決起大会が宮崎県、熊本県の沿線議会議員及び、各関係団体参加のもと、熊本県山都町にて開催された。本路線の整備により地域の経済の発展、観光周遊圏域の拡大による人的交流の促進、災害時の代替ルート、緊急医療の搬送ルート等、「命の道」として、大きな期待が寄せられているが、依然として未事業化区間が残っており、全線開通の見通しが立っていない。早期完成にける両県の沿線住民の長年にわたる悲願の実現に向けて、措置を講じるよう、強く国に要望することを決議した。



国道388号整備促進期成同盟会 8月2日

第32回定期総会が美郷町で開催された。

総会前に門川町から美郷町間の松瀬工区、船方2工区を踏査し、進捗状況を視察した。

総会では令和5年度の事業報告と収支決算、令和6年度の事業計画と予算が承認された。

また、国道388号(門川町～椎葉村間)の整備促進についても引き続き県に対して要望書を提出し、国土交通省九州整備局に対して提言書を提出する事を採択した。



台風10号による災害現地調査を実施

9月9日と11日にかけて災害現地調査を実施し、村内14ヶ所を調査した。

どの現地も村民にとって支障をきたす災害であり、1日も早い早期復旧を望むところだが、令和4年災に輪をかけての災害とあって、災害規模も過大となっている為、課題が残る。

村民の不自由さを 現地を目のあたりにし、現状を把握し、対応が急がれる

村民の安心する生活の為、優先順位を考慮しての災害復旧を望むところである。



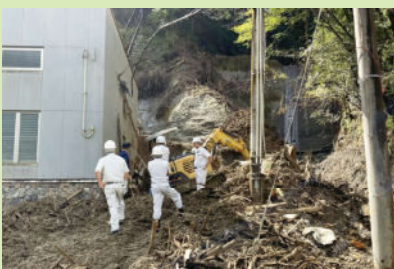
国道388号



村道畑線



村道松木線



間柏原発電所



鹿野遊地区床下浸水



内の八重川護岸

加工センター撤退に関する議会への説明会

9月20日、耳川広域森林組合は、議会に対して「森林組合加工センター（椎葉・諸塚・北郷）の事業撤退」に関する説明会を開催した。

【説明会の要旨】：（組合長及び参事より説明）

- ①加工事業は6年度末で1億円近い赤字が見込まれること、又現状の施設では今後の運営に展望が開けないとの結論に至り、9月5日の理事会で10月末をもって「製材ラインの稼働を停止する」ことを決定した。
- ②撤退にあたっては、加工場従業員の継続雇用を保証する。
- ③原木の買取販売は継続する。

【質疑応答の要旨】：（議会からの質疑と森林組合の回答）

議会①：事前に加工事業からの撤退を示すべきではなかったか。

組合①：厳しい状況は流域市町村の執行部には伝えていたつもり。

議会②：加工場の撤退は重要な事業計画の変更にあたり、森林組合定款では総代会での決定事項に該当する。理事会だけの決定は定款上問題がある。

組合②：年度当初の総代会で事業計画が承認され、理事会が運営を委任された。よって総代会にかける必要はなく、理事会で判断できると理解している。
経営を委任されているのは理事会であり、決断が間違っているという組合員もいるが悠長に撤退時期を判断してはいけないとの結論から今回に至った。

議会③：加工センターの従業員の今後及び転職サポートの考えは。

組合③：椎葉加工センターには11名が従事し、11月以降も全員残るが、希望を聞きながら森林整備への配置転換もありうる。原木販売事業には3～4名を配置予定。
継続雇用を保証、転職あっせんについては現状の所得補償を転職先をお願いする考え。退職希望者には一律3か月分の割増退職金を支給。

議会④：製材副産物の「おが粉」は畜産には必要不可欠、どのように対応するのか。

組合④：「おが粉」の生産は継続する考え。正式には10月の臨時理事会で決定する。

議会⑤：加工センターの設備や機械類の処分はどうするのか。

組合⑤：使用できるものは耳川林業事業協同組合に譲渡、建屋は保管倉庫として活用。

議会⑥：今回の撤退は見直す必要があるのでは。

組合⑥：30年前の機械ラインの更新が必要であり、継続するには20億の設備資金が必要。国からの支援も不採択となり現状では厳しい。

議会⑦：木材加工センターが整備された目的は何と考えるか。

組合⑦：雇用の場の創出と製品化による付加価値を高め、森林所有者への還元が目的。

議会⑧：加工センター撤退は耳川流域の山の手入れに影響する。総会で賛否を問うべき。

組合⑧：組合員も今回の理事会での撤退決定に賛同いただけると確信している。

議会⑨：理事会では、10名中2名の理事が反対したということだが、反対意見の理由は。

組合⑨：FSC国際森林認証（諸塚村）が途絶える事による反対。（2名とも）

議会⑩：理事会の決定事項だから覆されないとの回答だが、今回の意見を理事会に報告し、検討をいただきたい。

組合⑩：撤退を再考してくれという、椎葉村議会の強い意見があったことを10月上旬の臨時理事会で報告し理事の意見を伺う。

議会⑪：理事会で継続が必要という意見が出た場合はどうするのか。

組合⑪：理事会の賛成多数で方向性が決まるため回答は控える。



耳川広域森林組合 加工場（椎葉）

議会の動き

7 月	7月2日	森林林業活性化議員連盟総会	宮崎市
	7月4日	地域づくり懇談会	尾八重・小崎
	7月5日	地域づくり懇談会	鹿野遊・仲塔
	7月7日	熊本県八代市樅木地区との交流会	向山地区
	7月8日	地域づくり懇談会	大河内
	7月11日	地域づくり懇談会	上椎葉
	7月12日	第2回日向東臼杵広域連合議会	日向市
	7月16日	地域づくり懇談会	尾向・不土野
	7月17日	日向市・東臼杵郡町村議会議長会要望活動	国県関係機関(県北)
	7月19日	入郷地域開発期成同盟会要望活動	県関係機関(県北)
	7月29日	町村正副議長研修会及び地方行政問題協議会	宮崎市
	7月30日	九州中央自動車道建設促進沿線議会協議会総会・決起大会	熊本県山都町
	7月31日	第6回議会運営委員会	委員会室
		第8回全員協議会	委員会室
		第3回椎葉村議会臨時会	議場
8 月	8月2日	国道388号整備促進期成同盟会現地調査及び総会	門川町・美郷町
	8月5日	日向市・東臼杵郡町村議会議長会要望活動	県庁
	8月20日	九州中央自動車道建設促進地方大会	熊本県山都町
	8月23日・26日	例月監査	監査室
9 月	9月2日	第7回議会運営委員会	委員会室
	9月2日	第9回全員協議会	委員会室
	9月5日～20日	椎葉村議会9月定例会	議場
	9月9日・11日	村内災害調査	村内
	9月26日	郡町村議会議長会議員研修	日向市

椎葉村議会 テレビ(11ch) 生中継

12月定例会は12月5日開会予定となっています。
お問い合わせは議会事務局まで(TEL 0982-67-3209)
是非傍聴にお越しください。
議会だよりは村ホームページでもご覧いただけます。

編集後記

今年の夏は長い猛暑日が続き日常生活の中で熱中症になった村民の方もいたのではないのでしょうか。又、台風10号の影響により椎葉村にも大きな被害をもたらしました。現在、地球温暖化・線状降水帯発生など自然環境の変化が著しく村民生活に大きな影響を受けています。

今後過酷な自然環境破壊に負けない備え・守り・災害に強い村づくりが必要ではないのでしょうか。

9月の定例議会初日には、多数の女性の方が傍聴に来られておりました。議会に足を運んでいただいた事に感謝を申し上げます。

今後とも村民の皆様のご意見・要望等を寄せていただきますようお願い致します。

椎葉 一